

## ポスターA-1

## ポスター発表(実践)

多文化共生を支える日本語教育  
—外国にルーツを持つ子ども達への就学前日本語教育—

鈴木かおり (愛知淑徳大学)

## 1. プレスクールと指導員養成講座

外国人集住都市である愛知県小牧市では、2010年度より「プレスクール」を開講し、小学校就学前の5・6歳児に、3ヶ月間10回各1時間(2016年度より12回)の授業で基礎的学習(文字と数字)や学校生活に関し指導を続けている。昨今、外国にルーツを持つ子どもが在籍する小中学校は珍しいことではなくなったが、市内公立小学校16校、公立中学校9校全てに外国人児童・生徒が在籍する小牧市においては、日本語教育の必要性かつ重要性は高い。

また、日本語指導にあたる指導員は日本語教育の専門家でも経験者でもない。「地域で子ども達を見守り育もう」という観点から毎年指導員養成講座を開催しており、受講生は皆日本語教育の未経験者であるが、養成講座では日本語教育の基礎知識を学び、続くステップアップ講座では子どもへの指示の出し方、教材の効果的な使い方を学びながら教材開発を行っている。

## 2. プレスクールの目標と活動

「多文化共生を目指すにあたり、その障壁となる日本語の能力を伸ばし、日本語以外の言語を母語とする子どもが小学校生活において、円滑に教師や友だちとコミュニケーションが図れるように援助する。」ことを目標とし、小学校での基本的マナーを身につける、ひらがな等の基礎的学習をする、日本語でのコミュニケーション能力の向上を図る、保護者へ日本の小学校に関する理解を促す等の4点を中心に、授業活動を行っている。

## 3. 入学後の追跡調査結果と課題

プレスクール終了後は、子ども達が入学した各小学校に、学習面及び子ども同士や教師とのコミュニケーション等に関する追跡調査を依頼している。1学期間の様子から、プレスクールでの学習が国語・算数の教科学習への助けとなっている報告がある一方、自分の感情や考えを日本語で上手く伝えることができず人間関係が構築しにくい、集団行動に馴染めない等の報告もあり、これらは常に検討すべき課題である。

## 【引用文献】

公立小学校数 小牧市教育委員会 [www.komaki-aic.ed.jp/school.htm](http://www.komaki-aic.ed.jp/school.htm)